津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（代表3111番）
編集　編集委員会
印刷所　旭印刷所
電話（水俣）③4101番

夢ふくらむ津奈木の海岸

エビス神社と干拓

※夢を呼ぶ

ながい海岸線に、大泊赤崎平国福浦と、集落が適当の間隔で形づくられ、その各々が地域の特性を生かしている姿は、恵まれた自然と、先人の生活の智恵と努力に、時代人の絶えぬ研究努力の結果ではなかろうか。

こんなに自然と人間が程よく融和した海岸線は、一寸稀なことで、これは津奈木海岸の特徴ではないかと思う。

風光明眉、気候温和のこの津奈木海岸を想う時、私の胸には次々と夢が湧く、夢はなるべく大きいほうがよい。写真に託して、その夢を追ってみよう。

※波静かな大泊湾

干拓から恵比須が鼻への架橋は既に構想されている由。そこで浮ぶ夢は、この波静かな大泊湾に、モーターボート競技、つまり競艇を持って来たら…これはかつて小鳴戸橋から鳴戸競艇を見た時のことを想い出して生まれたもので、立地条件がよく似ている。しかし状況は鳴戸に数倍まさる。競艇場に不可決な大駐車場は、干拓がひかえている。

南九州唯一の競艇として、九州全土のファンを集める。競艇の生む財源も又すばらしい。

仮泊には海水浴場としての適地がある。そこを基地として、波静かな大泊湾で遠泳大会をやり、ベーロンと並んで海の祭典としては如何。

※健康長寿の赤崎

林田義人氏によれば、赤崎は八十才以上が六十数名で、長寿率からすれば、日本一とのこと。たしかに赤崎は健康長寿の村である。立地条件に恵まれたこの健康長寿村赤崎の西端に突出する丘を開発し日本の健康基地として、先ず手始めに、時代の要請の強い大型有料老人ホームを建設したら如何。都塵になやむ人長寿を願う人々に答えては。

※平国にヨットハーバーを

坂を下りて平国にはいった海岸一帯は、ヨット競艇場として、実に好適の地である。

平国湾と明神鼻

赤尾島と犬瀬崎

いる。何れは大（ボートとして、軽快なヨットの姿に接することもそう遠いことではないだろう。自然条件に恵まれた平国海岸にヨットハーバーが建設され、そこから不知海に繰り広げられるヨットレースを想像する時、夢はふくらむばかりである。

※福浦合串の養殖基地

これは夢ではなく、現実として、着々発展しつつある。両地域の方々のこれにかけられる熱意は実にすばらしく更に前進又前進で、一大養殖基地としての実現は既に時の問題であろう。

福浦の養殖場

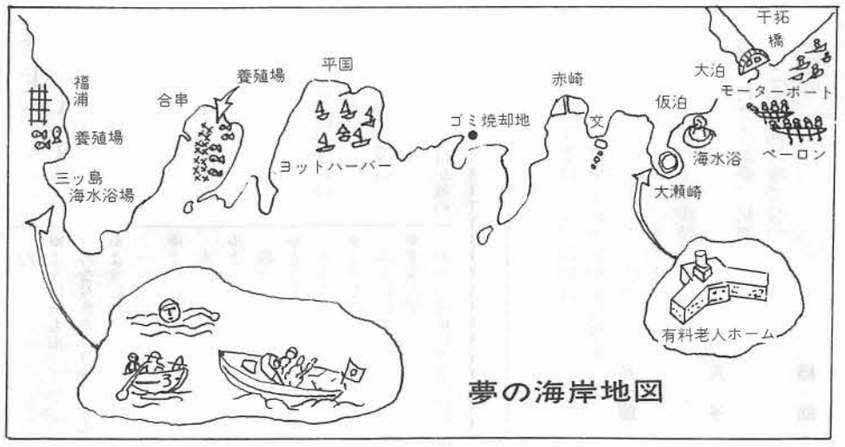
合串の養殖場

※安全性高い三ツ島海水浴場

現在町内の人々の利用はたいしたこともないようだが、福浦合串の発展に伴って、恵まれた立地条件を活かし、豊かな安全性を持つ三つ島海水浴場が、大きく飛躍発展するであろうこと、これも又夢ではないであろう

（完）

文責　永松登弥



夢の海岸地図

三ツ島海水浴場

みんなの心と心で
生活の中に簡素化を!!

津奈木町連合婦人会

昨日も今日もと諸物価の上昇で豊かな家庭生活に不安を感じさせられる情勢の中で、私達家庭を守る主婦として、生活の簡素化は、誰一人として異いながらも、実行に移す勇気と機会が得られず、冠婚葬祭も年々派手になる一方で業者を喜ばせるだけだ、という声さえ聞えております。

此の頃では皆が簡素化に目覚め、他町村でも各種団体が一丸となって虚礼廃止を推進し運動の徹底を図っておられます。芦北、水俣地区の農村婦人達で作られている、生活改善グループでは『冠婚葬祭の無駄をはぶこう』と各グループで意見を交換して検討した結果『病気見舞と初盆のお返しは絶対しない』『仏事には記念品か、お菓子のどちらかを一品』とする事を婦人会総会でも決議致しました。

又、部落の方は区長さんよりお聞きと思います。

初盆をお迎えの、ご家族の方にお願い致します。

『自分達は今まで戴いているから申し訳ない』と思われる気持は良くわかりますが、誰かが勇気を持って実行して戴かないと簡素化運動は進展する事は出来ません。

皆さん『病気見舞と初盆のお返しは絶対しない』『仏事では一品とすること』を是非守って実行いたしましょう。

形式にとらわれたり品物より真心を送り信頼を深めるよう、手をとり合って生活の合理化をはかりましょう。

冠婚葬祭の簡素化にはまだまだ数多くの問題が残されていて、皆様の努力と協力の大切さをここにあらためて痛感いたしております。

又、残された問題もこれから各種団体の方々にも強く呼びかけ、輪を広め、簡素化運動の徹底を図り、豊かな町づくりを致しましょう。

津奈木中学校 県大会に出場

九州中学野球選手権の郡予選がさる七月八日佐敷中学校で決勝戦が七月九日田浦町営グラウンドで行われ、津奈木中学校が堂々と優勝、栄冠をかちとり、来る八月上旬熊本市で行なわれる県大会に出場することになった。

松村先生の適切な指導のもとに休みもなく頑張った生徒達に心から拍手を送ろう。

婦人会行事のお知らせ

防犯と青少年育成 映画の集い

夏になるとギラギラと輝く太陽のもとに、つい気分も開放的になり、着物も薄着、家も開放的になります。

そこで起きるのが、覗き見痴漢、空き巣ねらい等の犯罪行為、特に青少年の非行がめだつのもこの時期、そこで犯罪をなくし明るい町づくりは町民皆様の手で、と言うことで、次のとおり映画会を開催いたします。

時間は毎夜午後八時からです。お父様方もぜひお出かけ下さい。

題名
『砂の家』
『あかるい町』

七月二十日　大泊
二十二日　浜崎
二十四日　染竹
二十五日　浜
二十六日　内野
二十八日　上下門
二十九日　倉谷

郡婦連バレーボール大会開催される

来たる八月二十七日芦北町で行なわれる、郡婦人会連絡協議会主催のバレーボール大会に津奈木町婦人会も参加、選手の健闘に会員多数の応援をお願いします。

交通安全を訴え 湯茶の接待

津奈木校区婦人会では左記の日程で、お盆帰省の自動車に、交通安全を呼びかけながら、湯茶の接待を行う。

日程次のとおり

八月十日午後一時より千代塚
八月十一日午後一時より千代塚

誤記の訂正

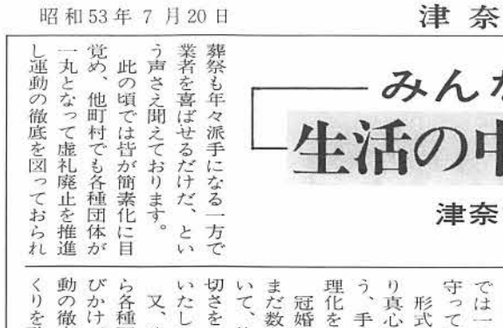
津奈木校区婦人会
補佐　西　滋子を
書記　西　滋子に訂正。

婦人会役員の異動

赤崎校区婦人会

副会長　篠原　テイ子
日添支部長　篠原　テイ子
書記・会計　開田　ヒサノ

歳事記



少年の夏シャツ右肩裂けにけり。　中村草田男
泳ぎいるかんばせかたきをとめかな。　日野　草城

▲【写真上】平国小学校の休み時間。

各行事のお知らせ

七月二十三日㈰　あおぞら少年団ビーチスクール
七月三十日㈰　町民体育祭・水泳大会・
八月五～六日㈯　郡青年団ソフトボール大会
八月十三～十四日㈰㈪　あおぞら少年団　大自然に学ぶサマーキャンプ
八月十六日㈬　町民体育祭・盆野球大会
八月十九日～二十日㈯㈰　町民体育祭・ベーロン大会　青年教室　野外活動指導者キャンプ研修
八月二十二日㈫　老友大学
八月二十七日㈰　芦北郡少年野球大会　芦北郡婦人会バレーボール大会

以上の通り町民体育祭や、スポーツ大会等があります頭の回転を良くし、体力をつくり夏バテしないためにも気軽にご参加下さいますようお知らせいたします。

編集後記

おやおや……
これはなんだろう……？
ビックリ仰天
こんなめずらしいものは今まで見たこともない!?
生物・植物・樹木等々なんでもけっこう**特ダネ**を町民の皆様からおまちしています。

水俣コミニュティーカレッジ
"書道"講座案内

昨年の県教育委員会主催の水俣コミュニティーカレッジ「書道」講座が大変好評で、再開の要望が強く、本年も昨年と全く同じ「書の美を求めて」（入門より作品制作まで）を無料で開講することになりました。

申込み等は次の通りです。町民各位のご参加をおすすめいたします。

申込方法　往復ハガキに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を書いて、水俣市南福寺六一一　水俣高校書道講座係へ七月二十九日まで、お申込み下さい。

その他不明な点は、水俣高校（電話三一二六一）の係にお問合せ下さい。

（津奈木町教育委員会）

躍動する あおぞら少年団

明るく・強く・たくましく

▲植物学習会、舞鶴公園内で兼田広先生の指導を受ける。

あかるく、つよく、たくましくを合言葉に、本年度五月津奈木町あおぞら少年団が発足した。

教育委員会が主催し、町内各学校児童・生徒へ募集した結果、津奈木小学校から六十二名の子供達が応募し、全員が団員となり、現在小学校三年生から六年生まで、男子三十、女子三十二名で少年団が組織されています。

▲団員を代表してちかいのことば

去る五月二十一日、完成して間もない舞鶴公園の本丸広場において結団式が開催され団員を代表して、誓いの言葉を六年生、本山真吾君が力強く宣誓した。

ちかいのことば

私達は本日この舞鶴公園で町長さん始め、校長先生や、お父さん　お母さんに見守られ、あおぞら少年団員になったことを誇りに思っています。

私達団員は、これから一年間心と身体をきたえながら、**あかるく、つよく、たくましく**を合言葉に、毎日活動することをここにちかいます。

津小六年　本山　真吾

各班十二名、班長を中心に講師の先生や、指導者の各指示、連絡等を良く守り行動しています。

毎週の日曜日少年団員に会うのが楽しみな今日、一年後のたくましい姿と将来の郷土を担う、津奈木健児の生き々とした瞳に、言葉や文章では表わせない野外活動のすばらしさを感じます。

教育委員会　青少年係

あおぞら少年団事業計画

五月　結団式　レクリ
六月　植物学習会　班別ソフト大会
七月　ビーチスクール　人命救助方法・ゲーム
八月　サマーキャンプ
九月　スケッチ大会・ゲーム
十月　小島の巣箱他創作会
十一月　親子OL大会
十二月　凧づくり学習会

▲気合を入れてチックサックコール

安全運転に陰の功労

津南保育園表彰される

事業所等で、自動車五台以上の所有者は、安全運転管理者を置くことになっているが津南保育園では、福田研二氏が管理者となって、日頃から自動車の整備点検、運転者の安全運転マナーの教育に心がけられたことが認められたもので、さる五月十五日に県警察本部長、及び、県安全運転管理運営協議会より表彰状と楯が贈られた。

肥後狂句　堀双岳選

(順不同)

天罰、飲うでとばして、地獄行き
朝寝ごろ、徹夜マージャンがまださす　凡九郎

天罰、悪口云い云い、さでこけた
朝寝ごろ、何時まで新婚気分かな　凡子

天罰、只でよか夢、見過ぎとる
朝寝ごろ、福は寝て待つふゆじごろ　緑助

天罰、ノルマノルマで、日も足らん
朝寝ごろ、三食抜きまで目の覚めん

天罰、海ィとび込うだ、暴走族
朝寝ごろ、夜なべは程々しとかんな　双岳

次題　又おいで・待て待て・以上四句以内八月末まで住所・氏名・雅号を明記して、公民館まで。

老友大学

五月開設した津奈木老友大学は、その三回目を七月十日開講、午前中は一般教養として、前半水俣署の山口氏の交通安全の指導を受け、後半は湯浦の山本泰樹氏の肥後狂句の指導を受けた。午後は四つの専門部に分れ、菊づくり、竹細工、婦人部の造花、園芸部とそれぞれ講師の指導で、三時過ぎまで猛暑そこのけの学習をした。

老友大学　老学生大いにひねる

一時間半にわたる山本氏の狂句指導は、終始笑いがとまらず最後に殆んど初心者の老学生達が、ひねりにひねりして、ひねりだした名（迷）句のいくつかを披露すると、

※ゲートボール　今日も暑かてすっとかな
※ゲートボール　玉打っちゃってけんかさす
※臨機応変　赤いヨモジで汽車ばとめ
※ようしたもん　一人暮しも馴れたばい
※ようしたもん　五時にゃきっぱり目が覚めた
※ようしたもん　みなりききなり独りまえ
※ようしたもん　一ぺんでゲート通らした
※ようしたもん　あぎゃんあばたに嫁らした
※ようしたもん　歌どんつくる暇がでけ
※ようしたもん　あるがそぎゃんなったろか
※ようしたもん　人はみかけにゃよらんばい
※老友大学　ボケの防止にゃよかばいた

津奈木町青少年育成懇談会

七月三日午後八時より十時三十分まで公民館ホールにおいて、小中高校職員、小中学校PTA会長、副会長及び役員、婦人会、青年団、教育委員会、警察署など五十名の出席があった。

●小中高校現状報告

津奈木小学校より次のような報告がなされた。

PTAの活動組織の専門委員会では安全委員会を設け、児童の交通事故防止だけでなく生活指導面を大きく取りあげ児童の非行化防止に力を入れて、健全な青少年の育成にあたっている。

また、十七地区から代表がでて、安全委員会で話し合った事項を各地区に持ち帰ってお互い共通理解と協力を得て生活指導に努力している。

●中学校よりの報告

クラブ活動及び社会体育があって遅くなる関係で買食いの問題がある。

※自転車通学の問題

※スクールバスの通学生徒の登下校問題

※映画見学等については学校で許可したもの以外の見学など問題がある。

※芦北高校女子生徒の非行が問題となり、特に指導に力をいれている。

※昨年度から広報を出しているが、生徒だけでなく職員も相手にして、現在四十六号まで出している。

※夜中に子どもが外出しても親は全然知らないという有様である。

※水俣工業に入学してくる生徒の中には、中学時代小学時代に問題をかかえた生徒がかなりいるようである。

現在までに問題になった事項としては、暴力事件、交通問題では夜中の午前一時、二時といった時刻に問題をおこしていた。

※水俣高校では有職青年との交流があって非行が行なわれている。

※校内での盗難事件があり、女生徒が現金をねらわれている。

※婦人会より。地域婦人会としても青少年育成については常にとりくんでいる。

※非行の低年令化の防止には地域ぐるみ、または各家庭の問題として真剣に取りくんでいる。毎年防犯等の映画会をやっているので今年もよろしく協力をおねがいします。

※青年団より。青年団は現在「あいさつ運動」を展開している。お互の連帯はあいさつからという趣旨からである。

※道路標識等をつくり交通安全にも力を入れている。

※暇があれば無駄な金を使うので、スポーツ等をやるよう進めている。

※警察よりの助言。少年の非行は家庭にあるといっても過言ではない。

少年補導の三つの柱として

○少年非行の早期発見
○有害環境の排除
○福祉犯罪のとりしまり

住民相談コーナーもありますし遠慮なく相談してください。

最後に津奈木町青少年育成町民会議設立の件を全員で決議し終了した。

親恋笛 (二)

津奈木民話　堀　二雄

おつきは、きれいな月の夜に生れたので、父母がその名をつけたのでした。そのせいかおつきは、お月様を眺めていると、死んだ母(かか)さんが、やさしい笑顔で、おつきを見守っているように思へるのでした。まま母のおくまは、じいっとお月様を眺めているおつきを見ると無性に腹を立て、お月さんば眺めとれば銭ばし降っとか、こっち来て肩なっとたけと大声でわめくのでした。おくまは、このおつきを外にやってしまおうと思うようになりました。

父さんが上方に行ってからもう半年以上も経つのに、何んの便りもありません。

そして又、一ヶ月経ち二ヶ月経って、いつの間にか、父さんが行ってから丁度一年目が来ました。今日か明日かとおつきは、くびを長くして待って、風の音にも父さんの足音にきこえるのでした。

おつきは、あれ程約束して行った父さんは、なぜ帰らないのか、若しや病気ではなかろか、どうぞお月様、父さんを早く帰して下さいと、小さい手を合せて子供心にも、一生けんめいに拝むのでした。

そんなおつきの姿を見るとおくまは、なんとかして、このおつきを、どこでもよいから遠い所にやってしまうと、恐ろしいことを思いつきました。

夜になって、おつきは小さい手に一生けんめい力を入れながら、おくまの肩を、もんだりたたいたりしていると、おくまが、明日父さんが帰るちゆうことづけのあったで、津奈木太郎のとっぺんまで迎いに行けば、父さんがよろこばすぞ。と言いました。

これを聞いたおつきは、ああ待ちに待った父さんに明日は逢える、心の中で父さん父さんと呼びながら余りのうれしさにその夜は少しも眠れませんでした。

待ち遠しかった夜があけた、おつきは、もう走り出したい気持をおさえながら水を汲んだり、かまどの火を見たり、小さいひびだらけの自分の手の痛みも忘れて働くのでした。

名木紹介

場所　津奈木町中村神社・種類・ナギ科・ナギ（二本）
樹令推定四百五十年　幹囲（雌）二、六五米（雄）一、七六米
昭和五十三年七月一日　津奈木町文化財指定

運動場利用者にお願い

町内の各学校の運動場、町民広場は、各種スポーツの練習場として、大いに利用されていますが、これは町民の方々の心身の鍛錬と、融和を深めるため大変よろこばしい事と思います。然し只一つ大変残念な事がありました。

それは或る日、県の指導者の方を、各運動場を案内した事があります。それは或るスポーツ行事のあった翌日でした。その運動場は、至る所にタバコの吸殻が一杯散らかっていました。而も運動場の周りの草むらには、ジュースの空カンや食べ物の残り物が、沢山すててありました。

県のお客さんの手前大変恥かしい思いがしました。

競技が上達しても、道徳心が減退しては、正々堂々をたて前とするスポーツ精神に反することだし、又学校は神聖な教育の場でありますので、学校の生徒や児童達に、大人達の後始末に大切な時間を無駄にしないためにも、どうぞ皆様方の御協力方をお願い致します。この事については、各学校の先生方からも強く御要望があります。

尚係としては、運動場には吸殻入れや、塵カゴ等の備えには充分気を付けるつもりであります。

（係から）